

令和4年度 新橋地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

- 担当エリアは昔からの地縁のつながりがある新橋エリアと新興住宅地として一斉開発された緑園エリアです。地域活動の担い手の世代交代がはじまっていて、どちらのエリアも地域活動の担い手不足は継続的な課題なのでこれまでとは違うアプローチの方法が求められています。
- コロナ禍で地域活動が縮小してきているためサロン活動などを行っている方々のサポートが必要です。
- 相談内容をエリア内の自治会/町内会ごとに分類すると、相談が入ってこないエリアがあり、まだまだケアプラザが知られていない実態があるため、その地区への働きかけをしていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●自治会館などでサロンや体操教室を実施している担い手さんたちを対象に「サロン交流会」を実施し、活動のアイデアや運営の仕方などを情報交換し、担い手さん同士の横のつながりをつくるきっかけにします。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	●岡津ケアプラザと共催で、エリア内の障害サービス事業所とケアプラザの連絡会を実施することで、障害サービス事業所が抱えている課題にケアプラザがどのように関わられるか検討します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	●相談件数の少ないエリアの自治会館で介護予防の体操教室を実施して、あらたな事業参加者を発掘するとともにケアプラザの周知に努めます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	●エリア内の民生委員とケアマネジャーをつなぐケアマネサロンを開催し、地域でのゆるやかな見守り体制をすすめます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	●昨年に引き続き地域デビュー講座や多世代交流スマホ教室を開催し、学生ボランティアや地域活動の担い手発掘に取り組みます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- コロナ禍で地域活動が縮小していたのが、ふれあい祭りや運動会、一人暮らし食事会などが再開し、ようやく地域活動が戻り始めた1年でした。重点取り組みで掲げた事項については概ね取り組めましたが、継続的に実施し、より深めていく必要があると感じています。
- 「サロン交流会」では活動の情報交換が行われ、それぞれのサロンに持ち帰り活動の幅が広がりました。
 - エリア内の自治会館で介護予防講座を実施したところ、自主的な勉強会を開催したいと依頼がありました。
 - 高齢者向けスマホ講座では学生ボランティアが自ら講座の内容を考え資料作成しています。
 - 総合相談では民生委員とのかかわりが重要と捉え「ケアマネサロン」でケアマネと民生委員との交流会を実施予定です。

区からのコメント

- ・生活支援体制整備事業では、泉区アクションプランの着実な推進のため、区内生活支援コーディネーターが一丸となって取組を進めていただきました。学生ボランティアと協働した高齢者向けのスマホ講座の実施など、持続可能な取組になるよう工夫して事業展開ができました。次年度も、地域に必要なインフォーマルサービスを創出していただくことを期待しています。
- ・地域デビュー講座をきっかけに活動を開始したぴんころラジオ体操では、体操に加えて農産物の販売を行うなど、活動の発展がみられます。今年度活動を開始したウォーキンググループも活動を継続して行えるよう、後方支援をお願いします。
- ・ケアプラザの事業では、学生や障害のある方、子育て中の方、シニア層と幅広い世代の方をボランティアとして巻き込み、多世代の方が多く関わる機会を創出しています。今後も広い幅世代が関わられるような事業の展開を期待しています。